

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
5年

地域の川から学習の物語が始まる！

篠路 川物語

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

この地域には、たくさんの川があります。昔は、海から内陸への重要な交通手段として使われていました。川によってまちは拓けていったのです。しかし、現在はあまり利用されていません。そこで、川と環境を題材に身近な地域に目を向けさせ、歴史を紐解いていきながら、人々の暮らしと川が密接に結びついていることを学習していきます。そしてこの活動から自分たちの川や地域に対する思いや願いを発信させていきます。

学習活動の流れ（25時間）

地図を見ると、地域に川がたくさんあることに気が付きます。地域の川の存在に気付くきっかけとなりました。

2枚の地図を比べてみよう！（3）

- ・川はどんな様子かな？
- ・川が多いのには何か理由があるのかな？

どのように昔の川は使われていたのだろうか？

（10）

- ・予想をしてから調べてみよう！
- ・地域の人に聞いて…
- ・インターネットで…
- ・本で調べると…
- ・みんなの調べたことをつなげると…

もっと色々なことを調べてみよう！（7）

- ・地域で川を守っている人に聞いてみよう！

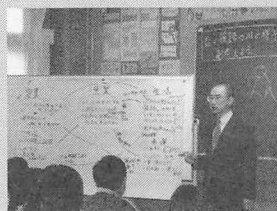
これからの篠路を考えて、PRしよう！（5）

- ・まちづくり協議会の方と話をしよう
- ・いろいろな方法で伝えよう

地域の歴史書の執筆者の方や川を守る会の方に話を聞くことによって、様々な人の存在に気付きました。

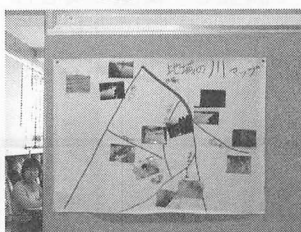
小さな川にも歴史上大切な役割があるものです。

地域の歴史に詳しい方の話から、調べたことをつなげることで新しい発見や次の課題をつくることにつながりました。



歴史に詳しい方からのお話

教材・活動の Point!

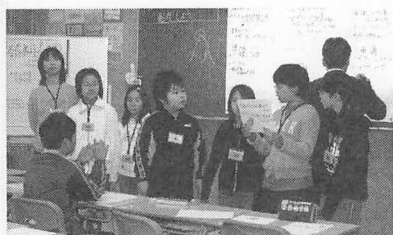
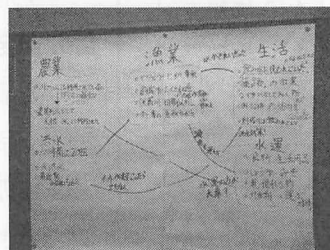


1. 「川」って何？

子どもたちは、「川」というものがどんなものかを理解していない。昔は洪水が多かったこの地域だが、今は水が流れていないからである。川が何に使われているのか？ブックトークをしていくことで川の使われ方を理解していきます。

2. 地域の川の使われ方で調べたことを交流する。

一人一人の課題を「漁業」「農業」「生活」「水路」「洪水対策」の5つのグループに分類し調べ活動をすすめました。地域の川の要素、すべてにあてはまるこれらの情報をつなげてみると、様々な新しい見方が生まれていきます。



3. 今の川を昔のような川に！

水の流れていない川もあります。調べていくと、そのような川に対して活動をしている人の存在に気付きました。水の流れる川を目指し、川を中心にまちづくりを進めている人の営みは、未来の川をどんな川にしていけるのかを考えるきっかけとなりました。